

## 令和6年度学校経営計画（概要）

### 1 目指す学校

Well-Being 溢れる学校 ～明日は何をしようかな～

- 子供の Well-Being 進んでやること、一緒に活動することに幸せを感じられる子供
- 教師の Well-Being 子供のよさを伸ばすことに幸せを感じられる教師
- 保護者・地域の Well-Being 連携することに幸せを感じられる学校

《学校の教育目標》

小柳小学校は、人権尊重の理念に基づき学校・家庭・地域社会の連携の中で、課題に主体的に向き合い自らの考えを形成し、友達と協働して課題を解決する力を育み、Well-Being 溢れる学校を目指し、次の教育目標と育成を目指す資質・能力を掲げ、学校教育を推進します。

かしこく…自ら学び、共に考えを高めることができる子

やさしい…自分も相手も大切にし、共につながることができる子

元気な子…心身の変化に気付き、粘り強く頑張る子

### 2 中期的目標

- (1) かしこい子の育成
- (2) やさしい子の育成
- (3) 元気な子の育成
- (4) 地域・保護者との連携の推進

### 3 今年度の取り組み目標

学習面でも生活面でも子供自らが自分たちで計画を立て、見通しをもって取り組むことができるようにし、自分で問題を解決することや友達と協働することに幸せを感じられるようにしたいと考えています。そのために、今年度は計画を立てることと振り返ることに注力して教育活動を進めるようにします。

(1) かしこい子の育成のために

- 校内研究予算を有効に活用し、教科担任制を軸として学習計画を立てるための話し合い活動を重視した研究を進めます。
- 子供のつぶやきを大切にした導入を工夫します。
- 教師の出と委ねる場面を意識して指導します。

(2) やさしい子の育成のために

- 子供の話を傾聴し、子供の変化に対して素早く丁寧に対応します。
- 協働する取り組みを重視し、共に取り組む心地よさを実感できるようにします。
- 学年会で必ず子供同士のトラブルと欠席状況について情報交換し、気になることは生活指導部会と支援部会に情報を挙げて、全体で共有して早期対応します。

(3) 元気な子の育成のために

- 体育学習や自由遊びの時間において、多様な動きを経験させます。
- レガシー教育の予算を有効に活用し、市内外のトップチームの選手を招聘し、運動に対する関心を高めます。
- タブレット端末を有効に活用し、自分の体や心の変化を振り返り、自認できるようにします。